

第4次 札幌市みどりの基本計画

中間評価報告書



令和7年（2025年）3月

札幌市建設局みどりの推進部

■ 中間評価報告書の構成

◆目次

- 札幌市みどりの基本計画の概要 1
 - ◆計画の内容
 - ◆中間評価の目的
 - ◆計画の体系と評価方法
- 中間評価の結果 1
- 評価指標の達成状況 2
 - ◆「△現況値から減少」に関する指標の分析
- 調査項目の傾向 3
- 第4次札幌市みどりの基本計画 推進プログラム 進行管理 4
- 総括 11

■ 札幌市みどりの基本計画の概要

◆ 計画の内容

みどりの基本計画は、森林や公園緑地・花壇など、私たちが生活していくうえで欠かすことのできない様々な「みどり」について、市民、事業者、行政が、一緒になってみどりの保全や創出を推進するため、その将来像、目標、施策などを定めた計画です。令和2年3月策定。

◆ 中間評価の目的 みどりの基本計画（P119）

中間評価は、目標および施策の方向性に関する現時点での達成状況を評価し、社会情勢の変化や関係法令の改正などに柔軟に対応するため、必要に応じて見直し・充実を検討することを目的に実施します。

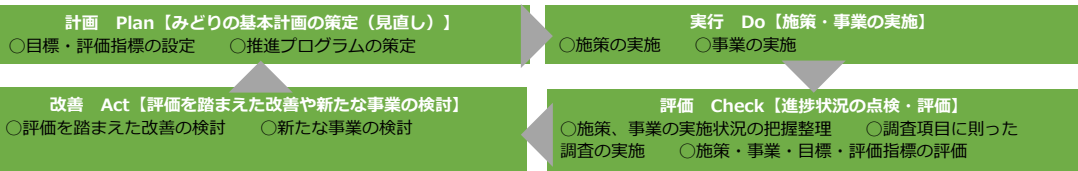
本計画は、**計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act）のPDCAサイクルによる進行管理への評価を計画期間の中間年（令和6年）に実施し、目標の妥当性や進捗への改善を図ることとしています。**

◆ 計画の体系と評価方法 みどりの基本計画（P72）

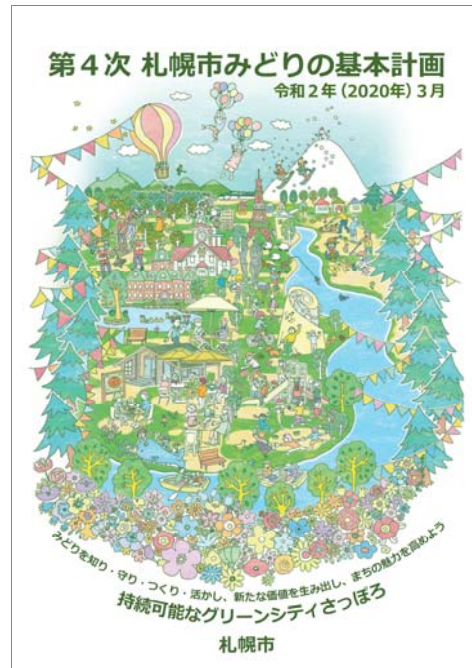
第4次札幌市みどりの基本計画では、みどりの分野の取組を進める上で「重視すべき4つの視点」と、それらを踏まえた「基本理念」のもと、「自然」「都市」「ひと」ごとに、「みどりの将来像」「目標」および14の「施策の方向性」を掲げています。

「目標」は、**評価指標と調査項目を設定し、2つの結果から達成状況を把握**します。達成状況は、**計画策定時の数値（現況値）と中間評価策定時の数値（中間値）を比較し、本計画で設定している目標値にどの程度到達できているのかを可視化**します。

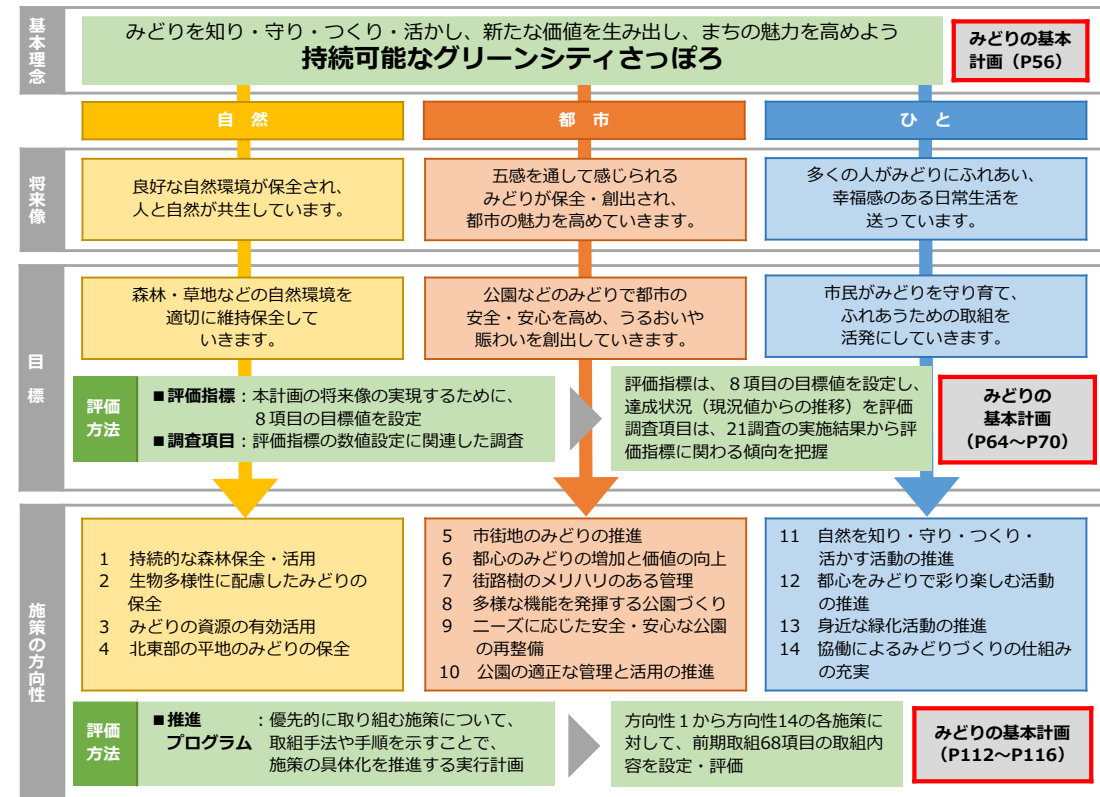
「**施策の方向性**」は、施策の具体化を推進する実行計画である**推進プログラム**について、**札幌市の自己評価により定期点検**を行います。



みどりの基本計画における進行管理の考え方



第4次札幌市みどりの基本計画



みどりの基本計画の体系（目標、施策の方向性の評価方法と取りまとめのイメージ）

■ 中間評価の結果

評価指標は、「目標値を達成」が3件（37.5%）「目標値に向けて上昇中」が3件（37.5%）となり、全体の75.0%を占める項目が、計画どおりに進捗していると評価できます。

調査項目は、全部で21項目（重複した項目も含む）あり、「上昇傾向」が10件（47.6%）「現況値から変化なし」が3件（14.3%）「減少傾向」が6件（28.6%）となりました。

推進プログラムは、前期に取り組む68項目のうち約9割の項目が、計画どおりに進捗していると評価できます。

評価指標の評価（本資料P2）

評価	◎ 目標値を達成	○ 目標値に向けて上昇中	△ 現況値から減少
件数・割合	3件 37.5%	3件 37.5%	2件 25.0%

調査項目の傾向（本資料P3）

傾向	A 上昇傾向	B 現況値から変化なし	C 減少傾向	－ 評価対象外
件数・割合	10件 47.6%	3件 14.3%	6件 28.6%	2件 9.5%

推進プログラムの評価（本資料P4～P10）

評価	○ 工程・取組内容ともに計画どおり進行している	△ 工程または取組内容に遅れが生じている
件数・割合	61件 89.7%	7件 10.3%

■評価指標の達成状況（みどりの基本計画P64～P70）

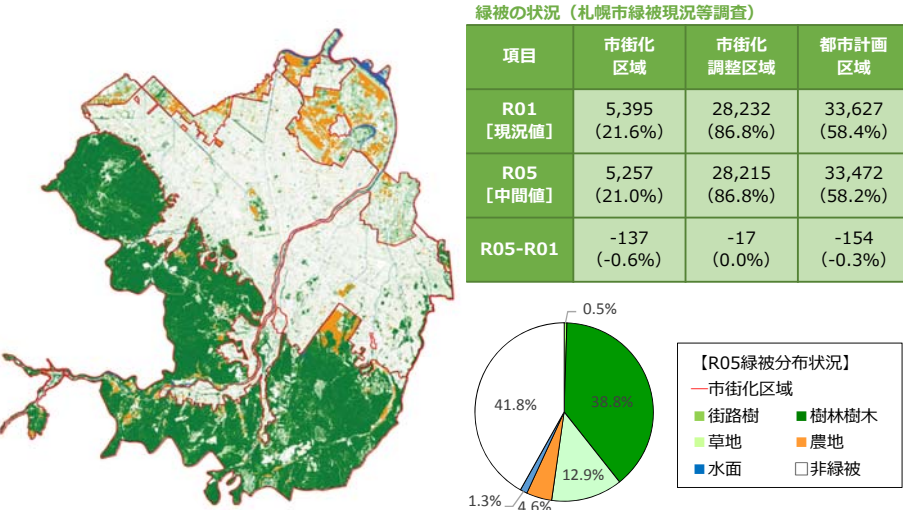
評価指標において**現況値から減少**となったのは、全8項目のうち、「**みどりの量（自然）**」と「**コミュニティ活動に関する公園利用届等件数（ひと）**」の2項目になります。減少となった2項目については、理由や要因を把握するための分析を行っています。

※評価 ◎目標値に到達(3件 37.5%) ○目標値に向けて上昇中(3件 37.5%) △現況値から減少(2件 25.0%)							
分類	目標	評価指標	現況値	中間値	目標値	評価※	考察
自然	森林・草地などの自然環境を適切に保全していきます。	みどりの量	33,627ha (R1)	33,472ha (R5)	現況値以上	現況値から減少	△
		間伐などにより適切な手入れをした都市環境林の面積（人口林対象面積約890ha）	97ha (H30)	274ha (R5)	400ha	目標値に向けて上昇中	○
都市	公園などのみどりで都市の安全・安心を高め、うるおいや賑わいを創出していきます。	都心部の公共施設や民間施設の緑化が足りていると感じている市民の割合（公共施設）	38% (H30)	56% (R5)	45%	目標値に到達	◎
		都心部の公共施設や民間施設の緑化が足りていると感じている市民の割合（民間施設）	32% (H30)	41% (R5)	40%	目標値に到達	◎
		公園のバリアフリー化率 トイレ	37% (H30)	41% (R5)	50%	目標値に向けて上昇中	○
		公園のバリアフリー化率 うち、主要公園トイレ	64% (H30)	76% (R5)	85%	目標値に向けて上昇中	○
ひと	市民がみどりを守り育て、ふれあうための取組を活発にしています。	みどりづくりなどに参加した市民の割合	56.1% (H30)	56.4% (R5)	現況値以上	目標値に到達	◎
		コミュニティ活動に関する公園利用届等件数	1,967件 (H29)	1,637件 (R5)	現況値以上	現況値から減少	△

◆「△現況値から減少」に関する指標の分析

緑被率調査

みどりの量については、前回調査時（R1）よりも154ha減少となっています。
減少の内訳としては、都市計画区域のうち**市街化区域のみどりの量が約140ha減少**していることがわかり、主に**郊外部での宅地開発、農地や草地の商業施設化**が見られました。

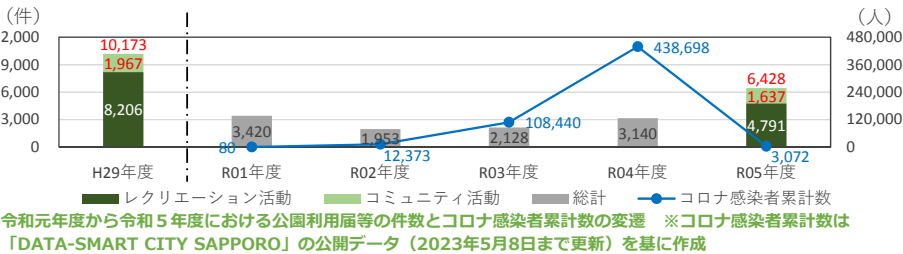


公園利用届分類調査

公園利用届等の活動は、「運動会・遠足」、「少年野球・サッカー」、「その他のスポーツ・大会」、「冬遊び」、「自然散策・自然観察」、「野外学習・園外保育」の6分類を**レクリエーション活動**、「地域イベント・祭り」、「住民活動等」、「防災訓練等」、「ボランティア活動」、「その他」の5分類を**コミュニティ活動**としています。

計画期間中の5年間では、**新型コロナウイルス感染症が流行し、外出規制や行動制限により社会的活動が停滞**したため、中間評価の数値に大きく影響しています。

公園利用届による利用件数とコロナの感染者数との関連を経年で比較・整理すると、平成29年度の利用件数（レクリエーション活動とコミュニティ活動の総計）は**10,173件（うちコミュニティ活動1,967件）**となります。令和2年度は1,953件と平成29年度の届出数と比較すると2割程度まで減少しましたが、令和5年度は**6,428件（うちコミュニティ活動1,637件）**と6割程度まで回復しています。中間評価では減少となりましたが、回復基調であることを鑑み、計画後期では目標値の達成に向けて取組を推進していくことが求められます。



■調査項目の傾向（みどりの基本計画P64～P70）

調査項目において**減少傾向**となったのは、全21項目のうち、「**みどりの量（自然）**」「**防災訓練の回数（都市）**」「**森林ボランティア（ひと）**」「**タウンガーデナー（ひと）**」「**指定管理による公園ボランティア（ひと）**」「**コミュニティ活動に関する届出件数（ひと）**」の6項目になります。

				※傾向		A上昇傾向（10件 47.6%）		B現況値から変化なし（3件 14.3%）		C減少傾向（6件 28.6%）		― 対象外（2件 9.5%）	
分類	目標	調査項目		現況値	中間値	傾向※		考察					
自然	森林・草地などの自然環境を適切に保全していきます	緑被現況調査	みどりの量	33,627ha (R1)	33,472ha (R5)	減少傾向	C	【再掲】評価指標欄に記載					
		都市環境林整備状況調査	間伐などにより適切な手入れをした都市環境林の面積	97ha(H30)	274ha(R5)	上昇傾向	A	【再掲】評価指標欄に記載					
		市内の動植物の分布調査	得られたデータ件数	1,897件 (R1)	17,166件 (R5)	上昇傾向	A	・この調査では、札幌の自然環境の状況を把握することを目的に、森林や草地、水辺などの環境の指標となる生き物を市民と調べています。 ・H27年から毎年作成している生き物マップは、自然環境の現状や変化を知る貴重な資料となっており、引き続き調査手法の見直しを検討した上で調査を継続していきます。					
都市	公園などのみどりで都市の安全・安心を高め、うるおいや賑わいを創出していきます	市民アンケート調査	都心部の公共施設、民間施設の緑化が足りていると感じている市民の割合の上昇率	公共	38%（H30）	56%（R5）	上昇傾向 （上昇率37.5%）	A	・都心部の公共施設、民間施設の緑化が足りていると感じている市民の割合の上昇率を掲載しています。当初は約2割の上昇を目標としていましたが、H30年から比較すると公共施設は47%、民間施設は28%上昇しており、2つの上昇率を平均した数値は37.5%となっており、当初設定した約2割の目標を上回っています。				
				民間	32%（H30）	41%（R5）							
		公園バリアフリー化実施状況調査	園路広場	79%（H30）	80%（R5）	上昇傾向	A	・園路広場と駐車場の調査は、1公園あたり1箇所以上バリアフリー対応となっている公園数の割合を把握しています。中間値は、園路広場は1%、駐車場は9%上昇しています。					
			駐車場	57%（H30）	66%（R5）	上昇傾向	A						
		民間活力の導入状況調査		0件（R1）	0件（R5）	現況値から変化なし	B	・市内の公園における年度毎のPark-PFIの導入件数を把握しています。中間値は令和5年度末時点の導入件数ですが、令和7年秋に百合が原公園での供用を予定しており、今後件数は上昇する見込みです。					
		公園の防災に資する機能配置調査	防火水槽	131件（H30）	223件（R5）	上昇傾向	A	・「消防局が防火水槽を設置している公園数」であり、5年間で92件増加しています。					
			貯水槽	21件（H30）	21件（R5）	現況値から変化なし	B	・「水道局が貯水槽を設置している公園数」であり、5年間で施設配置数に増減はありません。					
			雨水貯留量	50,425m3（H30）	54,546m3（R5）	上昇傾向	A	・「下水道河川局が公園に雨水貯留機能を設けている雨水貯留量」であり、5年間で4,121m3増加しています。					
			防災資機材保管庫	673件（H30）	801件（R5）	上昇傾向	A	・「防災用具の保管を目的に町内会が物置を設置している公園数」であり、5年間で128件増加しています。					
			防災訓練の回数	94件（H30）	76件（R6）	減少傾向	C	・「公園で町内会などが実施している防災訓練の回数」であり、H30と比較するとR6では76件に減少しており、主にコロナによる社会活動の停滞が大きく影響していると推察しています。					
		緑視率調査		50箇所実施（R1）	57箇所実施（R5）	―	―	・調査は、人の視界における草木、すなわち緑の多さを図る割合を算出し、緑視率の変化を把握しています。区や用途地域ごとに整理を行っており、数値については、地点ごとの樹木の成長や管理の状況等によって変化が見られました。 ・目にする緑の存在を整理することは、緑に対する心理的効果の把握につながり、景観や環境への配慮に役立てられています。					
		利用者数調査		35公園（R1）	11公園（R6）	―	―	・利用者数調査は、再整備実施公園を対象に整備前年と整備翌年の利用者数を把握しており、費用対効果の側面から調査対象の公園を選定し、調査を行いました。					
公園整備に関する満足度調査		76%（H30）	76%（R6）	現況値から変化なし	B	・満足度調査は、再整備等が完了した公園に関する周辺住民へのアンケート結果から、満足度を把握しています。 ・再整備工事に対する市民の評価や利用状況の変化などは、その後の再整備計画や設計、住民説明に活かされています。							
ひと	市民がみどりを守り育て、ふれあうための取組を活発にしています	市民アンケート調査	みどりづくりなどに参加した市民の割合の上昇率	56.1%（H30）	56.4%（R5）	上昇傾向 （上昇率0.5%）	A	・みどりづくりなどに参加した市民の割合の上昇率を掲載しています。少子高齢化や近年の余暇の過ごし方の多様化等からH30年よりも上昇させることとしていましたが、約0.5%の上昇率となっており、目標を上回っています。					
		ボランティア登録者数	公園ボランティア	2,373人（H30）	2,469人（R5）	上昇傾向	A	・ボランティア登録者数は、ボランティア登録者調査から登録人数を把握しています。 ・ボランティア登録者数のうち、「公園ボランティア」以外はいずれも減少しており、主にコロナによる社会活動の停滞が大きく影響していると推察しています。なお、「公園ボランティア」においては、上昇傾向となっていますが、これは地域に貢献することを理念とした企業の登録数が増えていることが大きな要因となっていると推察しています。					
			森林ボランティア	1,120人（H30）	853人（R5）	減少傾向	C						
			タウンガーデナー	308人（H30）	272人（R5）	減少傾向	C						
			指定管理による公園ボランティア	1,326人（H30）	952人（R5）	減少傾向	C						
		公園利用届分類調査	コミュニティ活動に関する届出件数	1,967件（H29）	1,637（R5）	減少傾向	C	【再掲】評価指標欄に記載					

■第4次札幌市みどりの基本計画 推進プログラム 進行管理 (みどりの基本計画P112～P116)

取組実績・進捗の区分
→ : 計画当初の工程・内容と変わらない
→ : 計画当初の工程・内容と異なる
評価の基準
○工程・取組内容ともに計画どおり進行している (61件 89.7%)
△工程または取組内容に遅れが生じている (7件 10.3%)

分類	方向性	主な施策	推進プログラム	段階	前期（中間評価対象）					取組実績・進捗		評価	後期					今後の予定	
					R2	R3	R4	R5	R6	R 6 年度末までの取組	事業の評価 ※事業評価のコメントの下線は 評価が△の理由		R7	R8	R9	R10	R11	R11年度末までの取組の見通し ※見通しのコメントの下線は 工程・内容が異なる理由	
自然	方向性 1 持続的な森林 保全・活用	○森林の保全 推進	・公有化した森林の間伐等 (真駒内地区、有明地区等) [1]	計画当初	間伐（継続）					白旗山都市環境林以外の都市環境林において、令和元年度から令和6年度までに22haの間伐を実施。	毎年継続して間伐を実施し、森林の公益的機能に加え、木材等生産機能の維持増進を図っている。	○	間伐（継続）					今後も継続して間伐等を実施する。	
			取組実績・進捗	間伐（継続）									間伐（継続）						
		・森林の公有化の実施（南沢地区、澄川地区等） [2]	計画当初	用地取得（継続）					令和2年度から令和6年度までに11haを公有化を実施。（南沢地区 平成26年度から令和6年度まで24.5haを公有化）	毎年継続して公有化を実施しており、森林の保全に寄与している。	○	用地取得（継続）					令和7年度まで南沢地区の公有化1.9haを実施予定。令和8年以降は澄川地区（23ha）の公有化を実施。		
			取組実績・進捗	用地取得（継続）									用地取得（継続）						
		○都市環境林 の利活用の推進	・森林の機能や特性に応じた 管理計画の策定 [3]	計画当初	調査		検討		策定	<個別の都市環境林> ・令和4年度に澄川都市環境林整備方針を策定。 ・令和6年度に白旗山都市環境林の計画に着手。 <全体> 令和3年度より「札幌市森づくり基本方針」の策定に着手、令和6年度に策定。	澄川都市環境林の整備方針を策定したほか、札幌市全体の森づくりの方針（「札幌市森づくり基本方針」）を策定しており、着実に進めることができた。	○	策定				白旗山都市環境林について、「 <u>〔仮称〕白旗山都市環境林利活用計画</u> 」を策定する。		
			取組実績・進捗	検討	<個別> 澄川着手 <全体> 策定着手	<個別> 澄川策定 <全体> 策定中	<全体> 白旗山着手 <全体> 策定中	<個別> 白旗山策定中	<個別> 白旗山策定										
	・人工林の間伐の実施 [4]	計画当初	継続					白旗山都市環境林において、令和元年度から令和6年度までに180haの森林整備（主伐・間伐含む）を実施	着実に森林整備を行うことで、事業量は上昇しており、森林の公益的機能に加え、木材等生産機能の維持増進を図ることができている。	○	継続					今後は、白旗山都市環境林については、主伐の事業量が増える見込みであり、間伐の事業量は減少する見込み			
		取組実績・進捗	継続									間伐継続 主伐造林							
	○多様化する 自然歩道など の利用者への 対応	計画当初			調査			令和3年度に利用者アンケートを実施。それを踏まえ、「札幌市森づくり基本方針」の中で自然歩道の整備に関する方針を策定。また、今後の市民の森の見直しや自然歩道整理のために令和6年度に再度利用者アンケートを実施した。	アンケート調査を行って、利用実態を把握できたことにより、多様化する利用形態へ対応するための施策を検討できた。	○	整備					・令和8年度より自然歩道の看板の多言語対応の検討及び自然歩道制度の整理を行う。 ・令和10年度より市民の森の見直し検討開始。			
		取組実績・進捗	アンケート調査	「札幌市森づくり基本方針」の中で検討	「札幌市森づくり基本方針」の中で方針策定	アンケート調査実施	<自然歩道> 多言語対応 制度の整理	<市民の森> 見直し検討											
	方向性 2 生物多様性に 配慮したみどりの保全	○生物多様性に 配慮したみどりの保全と 創出	・特定外来生物の関係法令に 基づく適切な処理など、公園 緑地などの整備、維持管理に おける生物多様性の保全に向 けた適切な維持管理 [6]	計画当初	検討		実施			・公園整備において特定外来生物（植物）を発見した場合、関係法令に基づく「土木工事共通仕様書」に従い、適切に対応している。 ・各区の総合維持管理業務および指定管理における特定外来生物の草刈等の取扱いについては関係法令に基づき、適切に対応する。	適切に対応できている。	○	実施					今後も法律に基づき、適切に対応する。	
			取組実績・進捗	実施									実施						
		・モニタリングなどによる基 礎的な情報収集と共有化 [7]	計画当初	検討		実施			市民参加型の「さっぽろ生き物さがしプロジェクト」の実施による情報収集や、市HPで結果を公開し、情報の共有化を図った。	平成27年度から毎年「さっぽろ生き物さがしプロジェクト」を実施しており、その中でも令和5年度は過去最高のデータ数を得られた。	○	実施					調査手法等の変更なども検討しながら「さっぽろ生き物さがしプロジェクト」を継続して実施する。		
			取組実績・進捗	実施									実施						
		方向性 3 みどり資源の 有効活用	○市有施設に おける木材利 用の促進	・小学校等での導入 [8]	計画当初	小学校等の整備時の導入					森林環境譲与税を活用し、学校や児童会館などに道産木材を活用している。森林譲与税による木材利用を行った公共建築物の数は、令和2年度から令和6年度までに41箇所となっている。	定山溪義務教育学校などの小学校のほか、動物愛護管理センターや中央区子育て支援センターなどの公共建築物にも利用しており、着実に道産木材の利用が進んでいる。	○	小学校等の整備時の導入					今後も公共建築物への道産木材の利用を進める。
				取組実績・進捗	小学校等の整備時の導入									小学校等の整備時の導入					
○落ち葉の堆 肥化	・各土木センターや公園にお ける落ち葉の堆肥化への取組 [9]		計画当初	継続					公園・緑地約30か所で落ち葉の堆肥化に取り組んだ。	公園や街路樹から発生する落ち葉を堆肥化し、有効利用することができた。	○	継続					引き続き、公園や街路樹から発生する落ち葉を堆肥化し、有効利用する。		
	取組実績・進捗		継続									継続							
方向性 4 北東部の平地 のみどりの保 全	○伐採木・剪 定枝などの有 効活用	・各土木センターや指定管理 者の管理する公園における剪 定枝の配布 [10]	計画当初	継続					公園や街路樹などで発生する伐採木・剪定枝を市民配布した。	伐採木・剪定枝を有効利用し、循環型社会の実現に向けた市民意識の向上や普及啓発を進めることができた。	○	継続					木質バイオマス燃料の材料となる有価物であるため、R7年度以降取組は廃止予定。		
		取組実績・進捗	継続									廃止							
	○バイオマス燃料・マルチ ング材の利用 [11]	計画当初	継続					木質バイオマス燃料及びチップ化したマルチング材として有効利用した。	循環型社会の実現に向けた取組みを実施できた。	○	継続					引き続き、木質バイオマス燃料及びチップ化したマルチング材として有効利用する。			
		取組実績・進捗	継続									継続							
	○農地の保全 と活用	・市民農園や体験農園など、 地域の実情にあった農的活用 の促進 [12]	計画当初	継続					市民農園は、さとらんど市民農園の他、認定市民農園として北東部では5箇所が登録（令和7年3月現在）されており、JAさっぽろ等と連携しながら市民農園についての情報を発信している。	市民農園としての認定を希望する農地所有者に対し、市民農園の登録や、また、市民への情報発信を行うことができた。	○	継続					引き続き、地域ニーズにあわせた遊休農地の利活用方法の検討を継続する。		
			取組実績・進捗	継続									継続						

■第4次札幌市みどりの基本計画 推進プログラム 進行管理 (みどりの基本計画P112～P116)

取組実績・進捗の区分

取組実績・進捗の区分	評価の基準
計画当初の工程・内容と変わらない	○工程・取組内容ともに計画どおり進行している（61件 89.7%）
計画当初の工程・内容と異なる	△工程または取組内容に遅れが生じている（7件 10.3%）

[illegible]

■第4次札幌市みどりの基本計画 推進プログラム 進行管理 (みどりの基本計画P112～P116)

取組実績・進捗の区分  :計画当初の工程・内容と変わらない  :計画当初の工程・内容と異なる

評価の基準 ○工程・取組内容ともに計画どおり進行している (61件 89.7%)
△工程または取組内容に遅れが生じている (7件 10.3%)

分類	方向性	主な施策	推進プログラム	段階	前期（中間評価対象）					取組実績・進捗		評価	後期					今後の予定
					R2	R3	R4	R5	R6	R6年度末までの取組	事業の評価 ※事業評価のコメントの下線は 評価が△の理由		R7	R8	R9	R10	R11	
都市	方向性8 多様な機能を 発揮する公園 づくり	○厚別山本公園の整備	・大規模公園である厚別山本公園の新規整備工事を実施【23】	計画当初			継続			・平成25年度より造成工事に着手し、令和2年度は遊具広場を造成し、供用を開始している。 ・令和3年度から令和6年度にかけてアクションスポーツ広場を含む中央エントランスエリアの造成を行っており、令和7年度の供用開始を予定している。	基本設計の見直しにより事業完了予定時期が当初の計画よりも遅れているが、ごみ埋め立て処分場跡地という制約が多い立地条件の中で、アクションスポーツ広場の整備など、近年の社会的ニーズの変化に対応しながら設計・工事を進めており、総合公園にふさわしい魅力ある公園の整備を進めることができている。	△						計画当初は令和6年度の完成を目指していたが、事業開始から10年以上経過し、社会的ニーズの変化に対応した計画の見直し等に時間を要しており、令和8年度以降の完成を予定している。
				取組実績・進捗	工事	基本設計工事		実施設計工事				実施設計工事	工事(完了)					
		○公園の必要性が高い地域での公園づくり	・公有地や民有地の公園整備の可能性について検討【24】	計画当初		検討		実施		中央区南2条西14丁目の未利用国有地（地方裁判所宿舍等跡地）を取得し、R2年度に南2条みゆき公園（2,809㎡）を整備した。これに合わせ、近隣にあった南4条みゆき公園（南4条西14丁目、333㎡）を廃止した。 R3.3.23に都市計画決定（変更）された卸センター跡地（北6条東3丁目）の地区計画において、地区施設として公園の整備が盛り込まれた。R7.4.1の供用開始に向け、現在、事業者と調整中。	「公園の必要性が高い地域」は、都心部周辺といった土地利用の高い地域にあり、用地の取得が容易ではないが、2つの案件では、適切な機会を捉え整備を行うことができた。	○			実施			卸センター跡地（北6条東2丁目）への新規公園整備を進める。 あけぼの公園（南11条西10丁目、543㎡）について、北隣にあったあけぼの保育園跡地（888㎡）を活用し、R9年度に拡張整備工事を行う予定。
				取組実績・進捗	工事実施		調査等実施		工事実施			調査等実施	工事実施		調査等実施			
		・民間再開発等によるオープンスペースなどの活用について検討【25】	計画当初		検討		実施		民間再開発等に係る水面下での相談事案はあったが、具体化にまでは至っていない。	適切な対応を行うことができた。事業者側の都合もあり、容易な話ではないが、引き続き、機会を捉え、適切に対応していきたい。	○			実施			本件については、対象地の整備内容や利用実態（地域ニーズ等）のほか、対象地周辺の公園の配置状況などにより、個別に判断を行っていくことが適切と考えており、相談事案に応じた個別判断を行っていくこととしたい。	
			取組実績・進捗			検討						検討						
	○市民緑地認定制度の導入	・認定制度の運用【26】	計画当初			運用			法改正に伴い制度を導入したものの、これまでに運用を開始した事例はない。	要綱を定め、制度の周知を図るなど、適切な対応を行えた。 設置管理主体が民間であり、全国でも実績が少ないため（R5.3末時点で10件）容易な話ではないが、引き続き、制度の周知を図っていく。	○			運用			引き続き、ホームページ等で制度の周知を図っていく。	
			取組実績・進捗	要綱作成		運用						運用						
	方向性9 ニーズに応じた安全・安心な公園の再整備	○身近な公園の再整備	・造成後30年以上経過した公園について地域ニーズを反映して再整備を実施【27】	計画当初			継続			身近な公園の再整備工事 R2 地域の核となる公園18箇所 機能特化公園12箇所 R3 地域の核となる公園27箇所 機能特化公園13箇所 R4 地域の核となる公園24箇所 機能特化公園8箇所 R5 地域の核となる公園19箇所 機能特化公園13箇所 R6 地域の核となる公園20箇所 機能特化公園8箇所	コロナ禍では、対面でのワークショップが難しい中でもアンケート調査を実施することで、計画検討に住民意見を取り入れることができた。 機能重複の解消による施設総量の抑制や、施設が減ることにより新たに生まれたスペースを小さな広場等の他の用途に機能転換することで、維持管理費の削減と、公園の魅力向上を効率的かつ効果的に図ることができている。	○			継続			引き続き、約30公園／年ずつ、身近な公園の再整備工事を実施する予定
				取組実績・進捗			実施設計工事						実施設計工事					
		○大規模公園の再整備	・農試公園の再整備【28】	計画当初		実施設計工事		工事		・野球場、ちゃぶちゃぶ池、トンカチ広場管理棟、交通コーナーなど主要施設の改修工事を実施した。 ・遊具広場を「誰もが遊べる遊具広場」として再整備するなど、大規模公園としての魅力向上につながる再整備を行った。	新たに「誰もが遊べる（ユニバーサルデザイン）遊具広場」を整備して来園者が増加するなど、近年の社会的ニーズを反映した、魅力ある再整備工事を実施できた。	○			完了			令和6年度末に再整備工事完了予定。
				取組実績・進捗	工事	実施設計工事		工事	工事(完了)									
		○大規模公園の再整備	・屯田西公園の再整備【29】	計画当初		実施設計工事		工事		・陸上競技場やサッカー場、野球場、公園管理事務所など主要施設の改修工事を実施した。 ・利用者が少ないプールを撤去して、駐車場やテニスコートを拡張するなど、利用者ニーズを反映させた部分的な機能再編も行った。	事業スケジュールの精査により完了時期がR6からR7に1年延びたが、サッカー場を天然芝から人工芝に変更して稼働率が向上するなど、魅力ある再整備工事を実施できている。	△			工事(完了)			令和7年度の完成に向け、引き続き再整備工事を実施する。
				取組実績・進捗	実施設計工事		工事											
○狭小公園の必要に応じた統廃合の検討		・公園の整備、再整備にあわせて検討【30】	計画当初			随時検討			中央区南2条西14丁目の未利用国有地（地方裁判所宿舍等跡地）を取得し、R2年度に南2条みゆき公園（2,809㎡）を整備した。これに合わせ、近隣にあった南4条みゆき公園（南4条西14丁目、333㎡）を廃止した。	地域の方の理解を得るための手続きを丁寧に行い、機会を捉えた狭小公園の統廃合が実施できた。	○			随時検討			機会を捉えて、狭小公園の統廃合について検討する。	
			取組実績・進捗	実施		随時検討						随時検討						

■第4次札幌市みどりの基本計画 推進プログラム 進行管理 (みどりの基本計画P112～P116)

取組実績・進捗の区分
 : 計画当初の工程・内容と変わらない
 : 計画当初の工程・内容と異なる

評価の基準
 ○工程・取組内容ともに計画どおり進行している (61件 89.7%)
 △工程または取組内容に遅れが生じている (7件 10.3%)

分類	方向性	主な施策	推進プログラム	段階	前期（中間評価対象）					取組実績・進捗		評価	後期					今後の予定
					R2	R3	R4	R5	R6	R6年度末までの取組	事業の評価 ※事業評価のコメントの下線は評価が△の理由		R7	R8	R9	R10	R11	
都市	方向性9 ニーズに応じた安全・安心な公園の再整備	○公園施設の適正化	・公園の整備、再整備にあわせて検討【31】	計画当初			随時検討			公園の種類や規模、周辺状況や利用状況などを勘案したうえで、施設撤去や配置転換などによる公園施設の総量抑制を意識した取組を行った。	公園トイレについては、地域住民や利用者との協議を重ね、適切な対応を行うことができた。総量抑制に関し、トイレの評価を適切に進めることができた。今後はトイレ以外の施設についても、評価検討を進めることが望ましい。	○			随時検討			引き続き、公園の種類や規模、周辺状況や利用状況などを勘案したうえで、施設撤去や配置転換などによる公園施設の総量抑制を図るよう努めていく。トイレ以外の施設の評価についても、検討に取り掛かる。
				取組実績・進捗	検討		実施			公園トイレについては、令和4年度に3箇所令和5年度に5箇所、令和6年度に5箇所を廃止した。					実施			
		・老朽化施設の改修【32】		計画当初			継続			公園巡視や施設点検を適切に実施し、施設の老朽程度や危険度を把握した上で、優先度の高いものから改修を実施した。	遊器具については専門技術者により、その他施設については公園巡視に併せて施設の劣化状況等を定期的に点検し、優先度をつけて修繕・改修を実施することができている。	○			継続			引き続き、巡視や点検を適切に実施し、施設の老朽程度や危険度を把握した上で、優先度の高いものから改修を実施していく。
				取組実績・進捗			継続								継続			
		○安心・安全な公園づくり	・入り口、園路、駐車場及びトイレのバリアフリー改修を実施【33】	計画当初			継続			全面再整備や施設改修の機会を捉え、バリアフリー改修を実施した。	施設の老朽化対策の一環として実施することで、効率的かつ効果的にバリアフリー化を進めることができた。	○			継続			引き続き、全面再整備や施設改修の機会を捉え、バリアフリー改修を実施していく。
				取組実績・進捗			継続								継続			
		・トイレの洋式化や案内表示の整備【34】		計画当初			整備			トイレのユニバーサルデザイン化工事 R3：2棟／円山公園、大通公園（西3丁目） R4：1棟／大通公園（西9丁目） R5：2棟／大通公園（西11丁目）、屯田西公園 R6：2棟／農芸公園（ツインキャップ、屋外）	利用状況等を踏まえ、おむつ交換台やオストメイトを設置したほか、誰もが見やすい大きさ・色のサインを設置することができた。大通公園西11丁目の検討にあたっては障がい者団体と連携して、障がい者の方々から直接、改善・要望点等を聞き取って改修内容に反映しており、効果的に整備を進めることができた。	○				整備		引き続き、特に利用が多い主要公園等にあるトイレを対象に、ユニバーサルデザイン化を進めていく。また、今後改修する全ての公園トイレについても、大便器は洋式を標準として整備する。
				取組実績・進捗	実施設計		実施設計工事								実施設計工事			
		・広場の確保、利用面の機能向上【35】		計画当初			継続			一時避難場所（又は指定緊急避難場所（大規模な火事））等としての機能が発揮されるよう、広場の確保（再整備）や保全、適切な維持管理を行った。	広場機能の確保については、必要に応じて、再整備に係る地域との意見交換の機会を捉えて説明しており、子供の遊びや地域の行事など、災害時以外の利用も含め、地域ニーズを踏まえながら進めることができた。	○			継続			引き続き、広場の確保（再整備）や保全、適切な維持管理を行っていく。
				取組実績・進捗			継続								継続			
	方向性10 公園の適正な管理と活用の推進	○災害に強いまちづくりに資する公園づくり	・災害時に役立つ公園のトイレ・水飲み台などの防災機能について、公園検索システムを活用した情報発信【36】	計画当初			継続			公園検索システムを活用し、緊急貯水槽等の設置されている公園について情報発信を行ったほか、全面再整備などの際に行われる地域の方々との意見交換の機会などを捉え、必要に応じて避難場所としての機能について説明を行った。	適切な対応を行うことができた。	○			継続			引き続き、公園検索システムを活用した情報発信を行うとともに、地域の方々との意見交換の機会などを捉え、必要に応じて避難場所としての機能について説明を行っていく。
				取組実績・進捗			継続								継続			
		・他分野との連携【37】		計画当初			継続			災害時の使用を見据えて、ヘリコプター緊急着陸地の指定、災害時の廃棄物保管場所指定など、関係部局との連携がなされている。	適切な対応を行うことができた。	○			継続			引き続き、災害時の使用を見据えて、関係部局との連携を行っていく。
				取組実績・進捗			継続			街区公園と近隣公園の清掃草刈業務の一部について、町内会や障がい者団体へ委託し、約半数の公園に対して実施されている。【町内会委託】R2：554団体 R3：531団体 R4：520団体 R5：505団体 【障がい者団体委託】R2：62事業所 R3：62事業所 R4：67事業所 R5：65事業所	適切な対応を行えたと考える。	○			継続			引き続き、市民参加の機会確保のため委託制度の活用を行っていく。
		・市民団体の公園管理運営への参加【38】		計画当初			継続			令和2～3年度にPark-PFIを実施する公園の選定や公募条件の整理を行い、令和4年度に百合が原公園に係るPark-PFIの公募を実施したが、応募がなかった。令和5年度に条件を見直した上で再公募を実施し、1団体を選定した。	新型コロナウイルス感染症や建築資材高騰など厳しい情勢の中、公募条件の見直しはしたものの選定に至った。現在、施設の供用開始に向け応募団体と協議中。百合が原公園の利便性や魅力の更なる向上等に向け、引き続き応募団体と相互に理解を深めながら協議を進めている。	△	整備・サービスの開始・効果検証			効果検証	検討	百合が原公園での供用開始は令和7年秋ごろの予定。その後、利用実態調査を実施しPark-PFIの効果検証を行う。これを踏まえ、他の公園においても、Park-PFI手法をはじめとした民間活力導入を幅広く検討し、公園の更なる魅力向上等に取り組む。
				取組実績・進捗	公募準備		公募		再公募	実施協定締結								
		○民間パートナーと連携した公園の管理運営	・公園の利便性や魅力向上等を図るために、Park-PFIの公募を実施【39】	計画当初			公募・整備・サービスの開始				令和6年12月に実施協定を締結し、事業の開始に向け協議を進めている。							
				取組実績・進捗			方針の策定											
		・公園のコンセプト等を事業者等と共有するためのツールとして、主要公園ごとの管理運営方針を策定【40】		計画当初			方針の策定			令和元年度から令和2年度にかけて、主要15公園のうち、都心のみどりづくり方針等に密接に係る大通公園・創成川公園を除く13公園について、管理運営方針を策定した。	百合が原公園のPark-PFI公募時において、管理運営方針を基礎資料として活用し、魅力向上に資する公募条件を設定するとともに、百合が原公園の特性や目指す方向性などを事業者等と共有した。主要公園において民間活力の導入を検討する際は、状況に合わせて管理運営方針を活用していく。	○						主要公園において民間活力の導入を検討する際には、その基礎資料として管理運営方針を活用し、公園の更なる魅力向上や持続的な管理運営に取り組む。
				取組実績・進捗			方針の策定											
		○狭小公園の活用	・公園の再整備にあわせて、コミュニティガーデンの造成など活性化を図る【41】	計画当初			随時			狭小公園について、遊具等に頼らない新たな機能（休憩施設や広場）に特化した再整備を行った。	狭小であるという制約がある中で、遊具ではなく広場等に特化した再整備を行うことで、高齢者や乳幼児のやすらぎの場としての利用が見受けられ利用者が増加した公園があり、従前と比較し、狭小公園の活用が進んだ。コミュニティガーデンの新設など利用促進を目的とした新たな取組は実施できなかった。	○			随時			引き続き、狭小公園について、遊具等に頼らない新たな機能（例えば、やすらぎの場や広場）に特化した再整備を行う。コミュニティガーデンの新設など利用促進を目的とした新たな取組の検討を行う。
				取組実績・進捗			実施			R2：12箇所 R3：13箇所 R4：8箇所 R5：13箇所 R6：8箇所					実施			

■第4次札幌市みどりの基本計画 推進プログラム 進行管理 (みどりの基本計画P112～P116)

取組実績・進捗の区分

取組実績・進捗の区分	評価の基準
計画当初の工程・内容と変わらない	○工程・取組内容ともに計画どおり進行している (61件 89.7%)
計画当初の工程・内容と異なる	△工程または取組内容に遅れが生じている (7件 10.3%)

分類	方向性	主な施策	推進プログラム	段階	前期（中間評価対象）					取組実績・進捗		評価	後期					今後の予定
					R2	R3	R4	R5	R6	R 6 年度未までの取組	事業の評価 ※事業評価のコメントの下線は 評価が△の理由		R7	R8	R9	R10	R11	R11年度未までの取組の見通し ※見通しのコメントの下線は 工程・内容が異なる理由
都市	方向性10 公園の適正な 管理と活用の 推進	〇ICT活用	・HPやSNSを活用した公園 のみどころや魅力に関する情 報発信の手法の検討と実施 【42】	計画当初	内容検討		実施		指定管理公園でのイベント情報をgoogleカ レンダーにまとめた「札幌市公園イベント カレンダー」を令和4年度より札幌市ホー ムページに掲載。 令和5年度は札幌市公式LINEで、令和6年 度は札幌市公式X（旧Twitter）も加えて、 公園イベントカレンダーと公園検索システ ムの活用を季節ごとに周知した。 また、札幌市内公園に設置しているトイレ の位置を示した札幌公園トイレマップを グーグルマイマップで作成し、令和6年度 より公開した。	公園イベントカレンダーのアクセス数は令 和4年度と令和5年度を比較すると増加し ており、札幌市公式SNSを活用した情報発 信の効果が見られた。 また、札幌公園トイレマップについては、 公開3週間で1,200回を超えるアクセスが あり、ニーズに応えられていると考える。	○	継続				・公園検索システム、公園イベントカレンダー、 公園パンフレット電子版等の各コンテンツを包 括したシステムの構築などを検討する。 また、公園トイレの廃止や建て替え等で状況 が変わった際、情報の更新を随時行う		
				取組実績・進捗			検討		実施			実施						
		〇プレーパ ークの場の提供 【43】	計画当初			継続		関係部局等による周知などもあり、年々開 催数は増加しており、子ども主体の活動が 目立ってきている。 プレーパークの開催実績 R2：72回 R3：80回 R4：140回 R5：154回		適切な対応を行えた。	○	継続				引き続き、開催数が増加していくよう関係者との 連携を図っていく。		
				取組実績・進捗			継続					継続						
		〇若者の公園 利用の促進 【44】	計画当初			計画・整備		施設整備：2公園、仮設整備：1公園 ルール 変更による運用：1公園 公園内でのスケートボードの利用需要が見受 けられたことから、手稲稲積公園（令和4年 度）と豊平川緑地（令和5年度）に仮設の広 場を試行的に設置した。手稲稲積公園では、 利用状況に特に問題は生じず、近隣住民への アンケート調査でも大きな反対意見が寄せら れなかったことから、令和6年度に常設のス ケートボード広場を整備した。また、既存の バスケットコートについても水準を上げて整 備した。 現在造成中の厚別山本公園においても、ス ケートボード等のアーパンスポーツが楽しめる 広場を令和6年度に整備した。その他に、 山口緑地では、利用ルールの変更により一部 滑走エリアを設定した。		若者のニーズに応じた公園整備や運用を 行った結果、若者に留まらず、子供や中高 年の利用も見受けられ、幅広い世代の利用 促進ができた。 整備等に当たっては、説明会やアンケート 調査を通じ地域住民の意見を反映させたほ か、周辺の住環境にも配慮し、利用マナー の啓発も同時に進めながら整備を進めた。	○	計画・整備				公園内でのスケートボード広場の追加整備の必 要性については、手稲稲積公園、豊平川緑地、 厚別山本公園の供用後の状況等を踏まえながら、 検討を行う。		
				取組実績・進捗			計画・整備					計画・整備						
		〇多様な社会 貢献の提供や 機会の創出 【45】	計画当初			継続		大通公園・創成川公園・円山公園のトイレ で使用するトイレトペーパーの提供者を 公募し、寄付いただいている。 また、大通公園の「スポンサー花壇」では、 花苗調達から植込みまで企業等に行ってい ただいている。 寄付件数（みどりの推進部所管公園に限 る） R2：9件 R3：2件 R4：7件 R5：10件		適切な対応を行えたと考える。 取り組みの結果公園の利便性向上や課題解 決につなげることができた。	○	継続				引き続き適切な公園管理を行っていくため、民 間事業者等からの協力を得ながら、多様な社会 貢献の機会を図っていく。		
				取組実績・進捗			継続					継続						
		〇冬季間にお ける公園利用 の推進【46】	計画当初			継続		街区公園等の全面再整備時に、地域の方々 と意見交換を行い、冬季間における公園利用 も進むような再整備案の検討を行った。その結 果、スキーやそり遊びが楽しめるようなス ロープや築山を設けた事例が生まれた。 中島公園、百合が原公園、モエリ沼公園、川 下公園、農試公園、前田森林公園、星観緑地 では冬期間に無料で利用できる歩くスキー コースを開設した。また、一部の指定管理公 園では、スノーシューの貸出しやスノーキャ ンドルイベントなどを実施し、冬期間におけ る公園利用の推進を図った。		再整備により造成したスロープや築山など で、子ども達が雪遊びしている姿を確認し たほか、歩くスキーコースも一定の市民利 用がなされており、適切に対応できた。	○	継続				引き続き、街区公園等の全面再整備時に、地域 の方々との意見交換を行い、冬季間における公園 利用も進むような再整備案の検討を行う。 歩くスキーコースについても、利用状況を踏ま えながら引き続き運用を行っていく。		
				取組実績・進捗			継続					継続						
		〇公園活性化 に関する協議 会の設置	計画当初			随時検討		指定管理公園では、公園管理者と地域住民 などの関係団体で、年に1回程度利活用協 議会を開催している。		小規模公園での協議会設置の機会がなか ったものの、指定管理公園において、公園 の利便性向上にむけた話し合いが行われる機 会として、利活用協議会が開催されている ことから、一定程度充足していると考え ている。	○	随時検討				公園利用に関する要望等があった際など、協議 会の新たな設置について随時検討していく。		
				取組実績・進捗			随時検討					随時検討						
〇長寿命化計 画による計画的 な管理運営 【48】	計画当初			継続		令和2年12月に「札幌市公園施設長寿命化計 画（第4回）」を策定。計画に基づき重点 的・効果的な維持補修や更新に取り組んだ。		策定により計画的な維持補修や更新を行う ことができた。橋梁や建築物などの大規模 な補修の計画も進められた。	○	継続				引き続き、計画に基づく維持補修や更新を行う とともに、令和11年度には次期長寿命化計画の 策定を行う。				
		取組実績・進捗	策定			継続					継続		策定					

■第4次札幌市みどりの基本計画 推進プログラム 進行管理 (みどりの基本計画P112～P116)

取組実績・進捗の区分
→ : 計画当初の工程・内容と変わらない
→ : 計画当初の工程・内容と異なる
評価の基準
○工程・取組内容ともに計画どおり進行している (61件 89.7%)
△工程または取組内容に遅れが生じている (7件 10.3%)

分類	方向性	主な施策	推進プログラム	段階	前期（中間評価対象）					取組実績・進捗		評価	後期					今後の予定
					R2	R3	R4	R5	R6	R6年度末までの取組	事業の評価 ※事業評価のコメントの下線は 評価が△の理由		R7	R8	R9	R10	R11	R11年度末までの取組の見通し ※見通しのコメントの下線は 工程・内容が異なる理由
都市	方向性10 公園の適正な 管理と活用の 推進	○公園樹木の 健全化、適正 化	・公園樹木の現況調査を実施 【49】 ・健全化：点検や診断の結果 に基づき、危険木の伐採等の 実施【50】 ・適正化：民地や道路に越境 していたり、見通しが悪く防 犯上市民生活に支障を及ぼす 樹木について、間引き樹種変 更等を実施【51】	計画当初			既存樹木の調査		公園再整備工事に伴い公園樹木の現況調査 を実施した。また、必要に応じ適宜実施し た。	安全安心な公園づくりに寄与することがで きた。	○	既存樹木の調査					引き続き、公園再整備工事に伴い当該調査を 実施するほか、必要に応じ実施する。	
				取組実績・進捗			実施							継続				
				計画当初			樹木診断・危険木の伐採等		公園再整備工事に伴う点検・診断の結果に 基づき、危険木の伐採等を実施した。また 必要に応じ適宜実施した。	安全安心な公園づくりに寄与することがで きた。	○		樹木診断・危険木の伐採等				引き続き、公園再整備工事に伴い当該危険木の 伐採等を実施するほか、必要に応じ実施する。	
				取組実績・進捗			実施							継続				
				計画当初			支障木の伐採等		公園再整備工事に伴い支障木の伐採等を実 施した。また、必要に応じ適宜実施した。	安全安心な公園づくりに寄与することがで きた。	○		支障木の伐採等				引き続き、公園再整備工事に伴い当該支障木の 伐採を実施するほか、必要に応じ実施する。	
				取組実績・進捗			実施							継続				
		○公園樹木の 取り扱いの方 針等の運用 【52】		計画当初			継続		「公園樹木の取り扱い方針及び指針」に基 づき、公園樹木の維持管理や樹種の設定等 の検討を行った。	「公園樹木の取り扱い方針及び指針」に基 づき、適切な樹木を配置することができた。	○			継続			引き続き実施する。	
				取組実績・進捗			継続							継続				
ひと	方向性11 自然を知り・ 守り・つく り・活かす活 動の推進	○市民団体等 との連携によ る森づくり 【53】		計画当初			継続		・森林ボランティアについては、森林ボラ ンティア登録制度の活用を進めているほか、 森林・山村多面的機能発揮対策支援事業で 支援を行っている。 ・令和3年度より北海道が進める「ほっか いどう企業の森づくり」に参加し、企業 CSRと連携を図っている。 ・都市環境林における企業や団体との連携 による植樹活動が年間2件程度から令和5 年以降は年間4件に増加した。	継続的に森林ボランティア活動の支援・促 進を行っており、市民団体等との連携によ る森づくりが進んでいる。	○			継続			白旗山都市環境林において、企業CSRによる植 樹等を進める予定。	
				取組実績・進捗			継続							継続				
		○自然観察会 等の実施 【54】		計画当初			継続		白旗山都市環境林で自然観察会や木工クラ フト体験を実施している。年間で100名程 度の参加数	参加者が減少傾向にあるため、改善につ いて検討する必要がある。	△			継続			・参加者数は減っているため、今後「（仮称） 白旗山都市環境林利活用計画」を策定する中で 検討予定。 ・森林の大切さの理解を伝える手法について、 観察会に加え、白旗山における森林整備を行っ た箇所への説明看板の設置なども検討していく。	
				取組実績・進捗			継続							見直し検討		見直しに基づき 実施		
		○環境教育の 実施【55】		計画当初			継続		サケの生態についての解説展示や飼育展示、 学校など外部からの依頼によるサケ体験学 習等を通し、サケを保全する取組の普及啓 発や生物多様性保全に関する教育普及を行 っている。 講師・外部協力実績 R2：89件 R3：105件 R4：109件 R5：124件	各関係機関とも協働し、適切に実施された。	○			継続			引き続き、各関係機関と連携して環境教育の推 進を継続する。	
				取組実績・進捗			実施							継続				
	○さっぽろふ るさとの森づ くり事業	・さまざまな世代の市民が気軽 に参加できる育樹体験イベ ントの実施、企業・団体との 森づくり協定の継続【56】	計画当初			継続		・令和2年時点は4団体だったが、令和6 年末で7団体と「さっぽろふるさとの森づ くり協定」を締結しており、毎年、対象の 公園緑地の育樹活動に取り組んでいる。	協定に基づき、事業を継続実施している。	○			継続			これまでの公園が主体であったが、森林での活 動の可能性のあることから、新たな形を検討 する。		
			取組実績・進捗			継続							検討		継続	検討		
	方向性12 自然を知り・ 守り・つく り・活かす活 動の推進	○花と緑の都 心まちづくり ネットワーク	・都心部で働く若年層にみど りに対する理解を深める講習 会等の実施【57】	計画当初			実施		R2年度～：都心部でのおもてなし緑化に おいて、フラワーコンテナ約170基の花苗 の植栽・維持管理について、企業やNPO法 人と協働で取組んでいる。 R3年度：「さっぽろ花と緑のネットワーク 推進支援事業」において地下歩行空間で植 物の栽培キットを用いたワークショップを 実施した。 R6年度：エリアマネジメント団体である 札幌駅前通まちづくり株式会社が取組ん でいる札幌駅前通ストリートガーデンにお いて、沿道企業の従業員を対象に花植え講習 会と維持管理講習会を行った。	フラワーコンテナの花植えや維持管理によ り、都心で働く人がみどりに触れる機会を 創出した。	○			実施			引き続き、都心部で働く若年層を対象とし、講 習会を開催するなど協働によるみどりづくりに 取り組む。	
				取組実績・進捗			実施							実施				
				計画当初			継続		R2年度～：本庁舎前フラワーコンテナにお いて、ボランティアが作成した植栽デザイ ンに沿った花苗を提供している。 R4年度：大通界隈フラワーコンテナのボラ ンティア向けにエプロンを制作、提供した R4年度～：大通界隈フラワーコンテナに おいて、市民ボランティアが活動している 旨のプレートの掲出を開始した。 R5年度～：札幌創成スクエアのフラワーコ ンテナにおいて、近隣のこども園の園児と 花植えを行った。	ボランティアのモチベーション向上につな がる支援ができた。 子どもが花植えを通じて花と緑のまちづく り活動を楽しめる場ができた。	○			継続			引き続き、より多くの市民がみどりのまちづく り活動に主体的に取り組めるよう、継続した支 援を行う。	
				取組実績・進捗			継続							継続				

■第4次札幌市みどりの基本計画

推進プログラム

進行管理

(みどりの基本計画P112～P116)

取組実績・進捗の区分

→

→

:計画当初の工程・内容と変わらない
 :計画当初の工程・内容と異なる

評価の基準

○工程・取組内容ともに計画どおり進行している (61件 89.7%)

△工程または取組内容に遅れが生じている (7件 10.3%)

分類	方向性	主な施策	推進プログラム	段階	前期（中間評価対象）					取組実績・進捗		評価	後期					今後の予定
					R2	R3	R4	R5	R6	R6年度未までの取組	事業の評価 ※事業評価のコメントの下線は 評価が△の理由		R7	R8	R9	R10	R11	
ひと	方向性13 身近な緑化活動の推進	○緑化活動の推進【59】		計画当初			継続			R2年度～：歩道美化事業、マイタウン・マイフラワープランの実施 R5年度：教育委員会と連携しマイタウン・マイフラワープランについて「地域学校協働活動推進事業」の活動項目に加わった。	町内会などの地域団体の活動により、身近な場所でもどりに触れる機会を創出し、地域に潤いや彩りを与えることができた。	○			継続			引き続き、町内会等の地域団体や小学校による緑化活動への支援に継続して取り組む。
				取組実績・進捗			継続								継続			
		○みどりづくり講習会の実施【60】		計画当初			継続			R2年度～：「さっぽろ花と緑のネットワーク推進支援事業」において、「花壇の土づくり」「園芸道具のメンテナンス」「寄せ植えづくり」「宿根草花壇 秋のお手入れ」等の講習会を開催した。	令和5年度に行った登録者向けアンケートにおいて、76%の人が「講習会が活動に役立った」と回答した。	○			継続			引き続き、左記事業に取組む 適宜ボランティア登録者へ調査を行い、要望の多い内容で講習会を開催する。
				取組実績・進捗			継続								継続			
		○地域緑化支援事業：歩道以外での緑化活動に取り組む市民を対象に花苗及び技術面の支援の実施【61】		計画当初			継続			R2年度～：「さっぽろ花と緑のネットワーク推進支援事業」において、緑化技術に関する講習会を開催しているほか、登録団体向けに技術指導講師の派遣を行っている。 R6年度：「さっぽろ花と緑のネットワーク推進支援事業」において、登録者が参加店舗で花苗等の割引を受けられる「はなみど割」の取り組みを開始した。	・緑化活動に取り組む市民に緑化技術向上のための支援ができた。 ・緑化活動に取り組む市民が花苗や資材を購入しやすくなる仕組みができた。	○			継続			引き続き、緑化活動に取り組む市民に対する花苗や技術面等の支援を継続する。
				取組実績・進捗			継続								継続			
	方向性14 協働によるみどりづくりの仕組みの充実	○効果的な情報発信【62】		計画当初			継続			本市公式SNS（X、LINE）及び「さっぽろ花と緑のネットワーク事務局」ホームページとSNS（X、LINE、Instagram、Facebook）を活用した情報発信を行った。	市民による活動の様子を多様な媒体を活用し発信できた。	○			継続			引き続き、多様な広報媒体を活用し、多世代に向けた情報発信を継続する。
				取組実績・進捗			継続								継続			
		○イベント開催への支援【63】		計画当初			継続			・著名なガーデナーによる講演会の開催やボランティア同士の親交を促すことを目的とした交流会を開催した。 ・花と緑の街づくりに関連したイベントへの名義後援を行った。	みどりに関わる人の裾野を広げるイベントの企画、運営や、イベント開催の支援ができた。	○			継続			引き続き、交流会や花と緑のまちづくりに関連したイベントへの支援を継続する。
				取組実績・進捗			継続								継続			
		○大学などとの連携【64】		計画当初			継続			R2年度～：全国都市緑化フェアへ出展する花壇デザインを市内大学生との協働により作成した。 R4年度：「さっぽろ花と緑のネットワーク推進支援事業」において市内大学生と協働で花と緑のオブジェづくりを行った R4年度～：北海道大学と協働して雨水浸透緑化に適した導入植物についての調査を開始した	・学生の意見を反映させた札幌らしいデザインの出展花壇やオブジェが制作できた。 ・札幌の気候風土や街並みに合い、かつ雨水浸透に適した植物について研究機関と連携できた。	○			継続			引き続き、大学などと連携したみどりづくりの取り組みを継続する。
				取組実績・進捗			継続								継続			
		○公園・森林・タウンガーデナーなどみどりに関わるボランティアのあり方を検討し、市民が参加しやすく継続できるボランティア活動推進計画の策定【65】		計画当初			策定			R4年度：みどりのボランティア活動促進計画予備調査業務（市民ボランティア・企業を対象とした実態調査、ボランティア活動支援策の事例収集等） R5年度～：上記調査結果をもとに、ボランティア活動促進計画の策定及び同計画の運用によるボランティアリーダーの育成・ボランティアネットワーク拠点の構築の実施を目的として、既存の要綱等を改正した。	コロナ禍を契機にボランティア活動の状況が計画策定時の想定と乖離したため、市民や企業を対象とした現状調査を行い、実態を把握できた。	△			運用			策定したボランティアの活動を促進するための計画等に基づき実施する。
				取組実績・進捗			調査	検討	検討 策定						運用			
		○ボランティア活動の推進		計画当初			検討			R6年度：ボランティア活動促進計画の策定及び同計画の運用によるボランティアリーダーの育成・ボランティアネットワーク拠点の構築の実施を目的として、既存の要綱等を改正した。	コロナ禍を契機にボランティア活動の状況が計画策定時の想定と乖離したため、当初計画より検討開始が遅れている。	△			実施			策定したボランティアの活動を促進するための計画等に基づき実施する。
				取組実績・進捗					検討						実施			
		○ボランティアネットワーク拠点の構築【67】		計画当初			検討			R6年度：ボランティア活動促進計画の策定及び同計画の運用によるボランティアリーダーの育成・ボランティアネットワーク拠点の構築の実施を目的として、既存の要綱等を改正した。	コロナ禍を契機にボランティア活動の状況が計画策定時の想定と乖離したため、当初計画より検討開始が遅れている。	△			実施			策定したボランティアの活動を促進するための計画等に基づき実施する。
				取組実績・進捗					検討						実施			
		○活動拠点機能の充実【68】		計画当初			検討			R2年度～：公園ボランティア登録制度により、活動に必要な資材を提供している。 R4年度：活動拠点の機能の充実について、大通公園では、ボランティア等の活動場所となる建築物内の一室を、より活動しやすくするために修繕を行った。	・資材を提供することで、ボランティア活動により活動拠点機能の充実に寄与した。 ・個別案件に対し、その都度度検討・実施をされており、適切な対応ができていいると考える。	○			実施			引き続き、左記事業に取組む ・要望等があった場合に必要に応じて活動拠点機能の充実に図っていく。
				取組実績・進捗			検討・実施								検討・実施			

■総括

目標と施策の方向性に関する評価では、「自然」「都市」「ひと」の分類ごとに現状における課題や傾向を把握でき、それらをもとに「計画前期の総括」と「計画後期の展開」をまとめました。また、今後の取組については「国の施策等の社会的動向」をふまえて、「今後注力する取組」を整理しました。

計画前期の総括と計画後期の展開

■自然

計画前期の総括

評価指標

- ・都市環境林の手入れでは森林整備の事業量が増加した一方、都市計画区域の緑被率は減少傾向がみられた。

施策の方向性（推進プログラム）

- ・概ねすべての項目において計画通りに進行することができた。

計画後期の展開

評価指標

- ・引き続き都市環境林の間伐など森林整備に着実に取り組むとともに、緑被率については、現況値以上の数値が確保できるよう、各種みどりの創出に関する取組を進めていく。

施策の方向性（推進プログラム）

- ・前期に計画通りに取組を進めることができたことをふまえ、引き続き円滑な事業進捗を図っていく。
- ・白旗山都市環境林については、後期は計画策定に取り組むとともに、間伐など森林整備を引き続き進めていく。また、その他の都市環境林においても間伐などに着手する。
- ・令和7年度以降の公園や街路樹で発生する伐採木や剪定枝については、バイオマス燃料の材料となる観点から有価物として取り扱っていく。

■都市

計画前期の総括

評価指標

- ・都心部の緑化が足りていると感じる市民の割合、公園トイレのバリアフリー化率はいずれも現況値を上回る傾向がみられた。

施策の方向性（推進プログラム）

- ・市街地及び都心部のみどりの推進や、街路樹の管理については当初計画に対して一部取組時期の前後はあるものの概ねすべての項目において計画通りに進行することができた。
- ・グリーンインフラに係る取組の普及啓発については、当初計画していたモデルガーデンの効果検証にとどまらず、民間事業者による整備を支援することができた。
- ・厚別山本公園や屯田西公園の整備においては、社会ニーズの変化に対応するための計画見直しなどにより、事業スケジュールが当初計画よりも後送りとなった。
- ・P-P-F-Iの公募・整備・サービスの開始については、新型コロナウイルスや建築資材高騰などの社会情勢を踏まえ、当初計画よりもスケジュールは後送りしつつ、取組を進めた。

計画後期の展開

評価指標

- ・市民アンケートについては、年度によって数値が増減する可能性があるため、R11年に向けて引き続き数値が維持・向上するように、都心部のみどりの保全創出に取り組んでいく必要がある。
- ・トイレのバリアフリー化率については、目標値に向けて数値の上昇が鈍化していることから、バリアフリー化の整備や総量の見直しなどについて、一層取り組み必要がある。

施策の方向性（推進プログラム）

- ・これまで計画的に取り組んできた事業については、今後も継続して取り組むとともに、当初計画よりもスケジュールが遅れている事業についても、計画後期の取組が円滑に進むよう対応する。

■ひと

計画前期の総括

評価指標

- ・市民アンケートでは、みどりづくりに関わった方が現況値を上回る結果がみられた一方、新型コロナウイルス感染症も影響し、公園におけるコミュニティ活動は現況値から減少する傾向がみられた。

施策の方向性（推進プログラム）

- ・概ね計画通りに進行することができたものの、ボランティア活動を推進する取組については、コロナ禍を踏まえた対応が求められたため、計画策定作業などが当初計画よりも遅れた。

計画後期の展開

評価指標

- ・人々の交流活動はコロナ禍から回復基調にあるため、都市公園や森林など様々な場面において市民がみどりにふれあう機会の創出を図っていく。

施策の方向性（推進プログラム）

- ・これまでの取組を踏まえ、引き続き円滑な事業進捗を図る。
- ・自然観察会やさっぽろふさの森づくり事業については、参加人数の傾向や活動の場の変化に対応した取り組みを検討していく。
- ・ボランティア活動の推進については、令和6年度中にボランティア活動促進計画等を策定することを踏まえ、令和7年度以降は計画等の運用により、ボランティア活動の促進のほか、ボランティアリーダーの育成やボランティア同士の交流を促すネットワーク拠点機能の構築に取り組む。

国の施策等の社会的動向

森林環境譲与税

パリ協定の枠組みの下、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設

柔軟な管理運営のあり方

新たな時代の公園として「使われ活きる公園」を目指し、「人がつながりまちを変える公園」の実現に必要な3つの変革と3つの重点戦略、さらに公園DXを含む7つの取組を設定

Park-PFI

都市公園の魅力と利便性の向上を図るために、公園の整備を行う民間の事業者を公募し選定する制度

まちなかウォークابل

付加価値の創出と地域課題の解決の場となる「都市」のあり方として、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の実現を促進する施策

グリーンインフラ

社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

今後注力する取組

森林整備の推進

多面的機能を発揮する森づくり事業

- ・CO2の吸収や水源かん養など森林の多面的な機能を発揮するため、手入れ不足の人工林の間伐等の森林整備や、道産木材利用、森林の普及啓発等を推進します。

○主な施策

「森林経営管理制度を活用した私有林整備」、「市有林の森林整備の拡大」、「市民と企業との協働による森づくり」

引き続き、市有林の間伐など森林整備を進めるほか、間伐遅れの私有林について、森林経営管理制度を活用した整備に取り組みます。また、白旗山都市環境林をはじめ、市有林において主伐後の植樹・育樹活動を市民や企業との協働によって進めます。



【私有林整備】



【カラマツ林（白旗山）】

大通公園・中島公園あり方検討

都心部公園機能向上事業

- ・市民や来街者が多く訪れる都心の中で、みどり豊かな都心部の公園に求められる施設整備や管理運営、民間資本の活用等を検討し、魅力あふれる公園づくりを進めます。

○主な施策

「大通公園・中島公園あり方検討」

大通公園は、平成の再整備からおよそ30年が経過し、施設の老朽化や多様化する市民ニーズなどに対応するため、公園施設のあり方、新たな役割についての検討を進めています。また、中島公園は、公園周辺において、建物建替えや今後のまちづくりの検討が進んでおり、これに寄与する公園の方向性を検討しています。



【大通公園】



【中島公園】

雨水浸透緑化施設の整備

都心のみどり推進事業

- ・みどり溢れ魅力と活力に満ちた都心の形成のため、官民連携による都心のみどりづくりを推進します。

○主な施策

「雨水浸透緑化施設」、「民有地緑化への助成」

札幌市では、平成22年度（2010年）より「雨水浸透緑化（雨水浸透型花壇）」を試行的に都市公園等で導入しており、令和3年度は国土交通省の「先導的グリーンインフラ」の重点支援団体として認定され、雨水浸透型花壇の効果検証等に取り組んだ。引き続き、市民や民間事業者への普及啓発を図るとともに、都市公園の改修や再開発等をはじめとした民間開発などを対象とした官民連携・分野横断による事業推進を目指しています。

雨水浸透緑化（雨水浸透型花壇）の試行的導入



平岡公園：H26,27



豊平公園：H28



円山動物園：H36